

**No.137**  
**2017.7.20**  
**Summer**

NPO法人兵庫県腎友会会報誌

# まほう



「淡路ハイウェイオアシス」から臨む明石海峡大橋



淡路夢舞台国際会議場

## 特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840  
ホームページ●<https://npohjk.or.jp/> E-mail●[npohyojin@nifty.com](mailto:npohyojin@nifty.com)

- |            |           |                  |           |                    |                    |
|------------|-----------|------------------|-----------|--------------------|--------------------|
| ■阪神ブロック事務局 | 〒663-8215 | 西宮市今津水波町1-7      | ドミトリー高木1F | TEL.0798 (36) 9731 | FAX.0798 (36) 9732 |
| ■神戸ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F  | TEL.078 (958) 7370 | FAX.078 (371) 8840 |
| ■東播ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F  | TEL.078 (958) 7323 | FAX.078 (958) 7102 |
| ■西播ブロック事務局 | 〒672-8048 | 姫路市飾磨区三宅1-192    | 田中興産ビル6F  | TEL.079 (285) 0577 | FAX.079 (287) 6038 |

# 認知症を知る

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは?」「認知症なのでは?」「認知症ってなに?」と“認知症”に対する不安はだれもが持っていると思います。恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



医療法人社団裕和会  
長尾クリニック 院長  
**長尾 和宏 先生**

●職歴  
1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局  
1991年 医学博士(大阪大学)授与 市立芦屋病院内科医長  
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



## 第8回 「取りつくりい」は、しからずにスルー

認知症には必ず2～3年程度の認知症予備軍(MCI)の時期があります。そのまま一生を終える人もいれば生活の一部に支障を来す人もいます。生活に援助が必要な状態になって初めて病気として扱われます。認知症になっていく過程を一番分かるのは家族ではなく本人自身です。「料理や化粧がどうも上手くできなくなる。」「ゴルフのスコアが計算できなくなる。」「お金の計算が出来なくなる。」「いつもの道に迷い家に帰れなくなる」…。誰だってそんな自分の変化に気が付いた時に愕然とし不安に襲われます。自分が壊れていく感覚を味わうと悲しくなります。そこで誰かの助けを求めたくてもプライドが邪魔をします。病院であれこれ質問されると記憶力の低下を隠そうという本能が働きます。

「今朝、何を食べましたか?」と聞かれたら誰だって「馬鹿にするな!」と腹が立ちます。しかし本当に思い出せなかったら、次に誤魔化そうとします。実際は食べていなくても「ご飯を食べた」と。それを「取りつくりい」と言います。決して嘘をつく意図ではありません。上手く思い出せないのですしさわりのない返答で、とりあえずその場を切り抜けようとしているのです。考えてみれば我々の生活も日々、取り繕いだらけ。どんな人でも小さな嘘を一度もつかない日はありません。認知症の人は直近の記憶が障害されるので周囲の人にバレてしまうだけです。取りつくりいは実は素晴らしい技術や知恵のようなものです。しかし家族が「そんな嘘について!」と間違いを怒り飛ばした瞬間にプライドがひどく傷つきます。自分でも自覚している弱点を他人に指摘されたら腹が立つのは当たり前。それを責め続ける家族がいればマイナスの感情がどんどん蓄積されます。ですから「取りつくりい」を見ても絶対にしからないでスルーして下さい。しかるとそのあと必ず認知症特有の困った諸症状(BPSD)が現れるのです。